

日韓歴史共同研究委員会第2分科

活動記録

第1回合同分科会

日時及び場所

日時: 2002年5月25日(土) 17:45-18:30

場所: ソウル シェラトンウォーカーヒルホテル

出席者

日本側委員: 田代和生、吉田光男

韓国側委員: 孫承喆、鄭求福、趙珖

通訳: 李南姫(専門通訳)

会議内容

- ・共同研究の主題及び日程等全般的な事項についての協議
- ・今後1年間の日程協議

第2回合同分科会

日時及び場所

日時: 2002年7月7日(日) 14:00-18:30

場所: 東京 財団法人日韓文化交流基金会議室

出席者

日本側委員: 田代和生、吉田光男、六反田豊

韓国側委員: 孫承喆、鄭求福、趙珖

通訳: 尹裕淑(高麗大学校講師)

会議内容

・共同研究の主題及び日程、研究方法及び研究成果物の形態等について

合意事項

- ① 2分科会の共同研究テーマを日韓外交(偽使および通信使)、文禄慶長の役(壬辰倭乱)とする。
- ② 研究内容は、各テーマに関する研究史の整理を優先課題とする
- ③ 研究期間は1年6カ月間(2004年3月まで)とする。
- ④ 次期会議は、2003年3月22日に開催し、研究成果物の公開方法について議論する。

第3回合同分科会

日時及び場所

日時: 2002年11月30日(土) 14:40-17:00

場所: 東京 ホテルオークラ

出席者

日本側委員: 田代和生、吉田光男、六反田豊

韓国側委員: 孫承喆、鄭求福、趙琬

通訳: 洪宗郁(東京大学大学院生)

会議内容

・研究発表の方式及び以後の会議日程について

合意事項

- ① 次期分科会議は、2002年3月21日午前10時より開始する。会議場所は、韓国側委員会ソウル事務所とする。
- ② 上記①以後の会議は、3カ月に1回開催することとし(2003年6月、9月、12月及び2004年3月)、全体会議と重複する場合は他の月に開催することとする。
- ③ 報告の形式はそれぞれが決定することとし、発表内容を一週間前に交換する(2003年3月は除く)。
- ④ 史料篇については今後あらためて話し合う。

第4回合同分科会

日時及び場所

日時： 2003年3月21日(金) 10:00-17:30

場所： ソウル 韓日歴史共同研究委員会事務局会議室

出席者

日本側委員： 田代和生、吉田光男、六反田豊

韓国側委員： 孫承喆、鄭求福、趙珖

通訳： 李南姫、李仁淑(専門通訳)

会議内容

- ・3つの主題に関する研究史整理論文及び文献目録を交換、追加説明を実施。
- ・今後の研究方法及び計画について協議。

合意事項

- ①今後の会議は4回の分科会議(2003年6月、9月、12月、2004年3月)と2回の全体会議を開催する。
- ②4回の分科会議においては、共同研究主題(文禄・慶長の役、通信使、偽使)中より各国で任意に具体的な主題を決め、午前1名、午後1名ずつ発表・討論する。
- ③発表者は研究委員、および研究協力者(共同研究員)の中から、双方が任意で決めることとする。
- ④発表文は200字原稿用紙20枚以上とし、目次、資料で構成し、会議の1週間前に事務局を通じて、FAX 又はメールで送付する。
- ⑤2回の全体会議においては研究進行状況に対する意見を交換し、懸案を調整する。
- ⑥研究成果物の形態と日程および提出日時及び場所は2003年5月の会議で決定する。
- ⑦5月の分科会議において研究史整理資料に対する補充討論を行なう。5月の分科会議には可能な限り、研究協力者も参席する。
- ⑧次回、6月の会議は6月13日(金) - 15日(日)に対馬において開催する。
- ⑨共同研究員(研究協力者)の選定と活用は各委員の任意とするが、ただし分科会議に出席する場合には、事前に相手側に通報し、了解を求める。

第5回合同分科会

日時及び場所

日時： 2003年5月24日(土) 14:00－18:00

場所： ソウル 新羅ホテル

出席者

日本側委員： 田代和生、吉田光男、六反田豊

韓国側委員： 孫承喆、鄭求福、趙珖

通訳： 李南姫(専門通訳)、金成炫(京都大学博士、延世大学校講師)

会議内容

- ・研究史整理論文についての補充討論
- ・以後開催する今後の研究発表会及び討論の形式、日程について

合意事項

- ① 研究史整理論文を、今後合同分科会で引き続き修正・補完していく。
- ② 今後の合同分科会の開催場所、主題、発表者は次の通りとすることに暫定的に決定する。

2003年6月14日 対馬厳原町

鄭求福委員： 壬辰倭乱に対する韓日両国の歴史認識

橋本雄協力者： 中世の朝鮮使節来日と室町幕府について

2003年9月 ソウル

趙珖委員： 通信使(タイトル未定)

六反田委員： 文禄慶長の役(タイトル未定)

2003年12月 東京

孫承喆委員： 偽使関連(タイトル未定)

米谷協力者： 徳川時代の通信使と国書

2004年3月中 釜山

韓国側未定： 総合的な内容

田代委員、伊藤協力者： 偽使関連(タイトル未定)

- ③ 同分科会の日程は、一つの主題の発表と討論に2時間程度を割り当て、毎回二つの主題について発表と討論を行った後、研究史整理論文に対する補充討論を行う(文禄慶長の役、通信使、偽使の順に3回に分けて進める)。
- ④ 同分科会の進行方式は、あらかじめ準備した概要を発表した後に参加者全員が自由討論を行い、討論内容全体を録音して、完成した討論文を事後に作成する。

- ⑤テープ起しを行った討論文は、討論者が確認した後に最終的に完成させるが、討論の基本内容を変えることはできない。
- ⑥2004年5月、研究史資料の完成版と主題発表概要を相互に翻訳して提出する。
- ⑦2005年5月までに主題別に完成した論文(主題発表概要と討論内容を含む)と討論文及び研究史資料の完成版を最終研究成果物として提出する。
- ⑧研究期間を延長する場合、少なくとも2回の合同分科会を行い、それに伴う諸般の協議事項は引き続き検討する。

第6回合同分科会（第1回研究発表会）

日時及び場所

日時：2003年6月14日（土） 10:00－18:00

場所：長崎県下県郡厳原町（対馬） 厳原町文化会館

出席者

日本側委員： 田代和生、吉田光男、六反田豊

日本側研究協力者：伊藤幸司、北島万次、橋本雄、米谷均

韓国側委員： 孫承喆、鄭求福、趙珖

韓国側共同研究員：韓文鍾、朴哲暁、張舜順

通訳： 金善美、申文鈺（専門通訳）

事務局： 長久光、朴慶嬉

会議内容

(1) 主題発表及び討論

- ・鄭求福委員「壬辰倭乱に対する韓日両国の歴史認識」
- ・橋本雄協力者「中世の朝鮮使節来日と室町幕府について」

(2) 研究史整理論文討論

協議事項

- ① 次回の第7回合同分科会は、9月29日にソウルで開催する。
- ② 韓国側では通信使、日本側では文禄慶長の役を主題として発表を行う。
- ③ 研究史は通信使について重点的に討論を行う。
- ④ 研究協力者（共同研究員）全員が参加し、会議の進行方法はこれまで通りとする。

第7回合同分科会（第2回研究発表会）

日時及び場所

日時： 2003年9月20日（土） 9:30－18:00

場所： ソウル 韓日歴史共同研究委員会事務局会議室

出席者

日本側委員： 田代和生、吉田光男、六反田豊

日本側研究協力者：伊藤幸司、橋本雄、米谷均

韓国側委員： 孫承喆、鄭求福、趙珖

韓国側共同研究員：韓文鍾、朴哲暎、洪性徳

通訳： 潘聖仁、李仁淑（専門通訳）

事務局： 長久光、朴慶嬉

会議内容

(1) 主題発表及び討論

・六反田豊委員

「文禄慶長の役（壬辰倭乱）開戦初期における朝鮮側の食糧供給体制」

・洪性徳共同研究員 「朝鮮後期における対日外交使行と倭学訳官」

(2) 今後1年間の日程協議

協議事項

①次回の第8回合同分科会は、11月29日に京都で開催する。

②第9回合同分科会は、12月20日に東京で開催する。

③通信使研究史整理論文については第9回会議で張舜順共同研究委員が直接説明する。

④2004年の合同研究発表会では、各委員が主題を整理して発表する。

⑤1年の延長期間は研究の整理・総括・補充期間とし、論文及び討論記録の整理のため2回程度合同分科会を開催する。

第8回合同分科会

日時及び場所

日時： 2003年11月29日(土) 14:00-16:00

場所： 京都 京都リサーチパーク

出席者

日本側委員：田代和生、吉田光男、六反田豊

韓国側委員：孫承喆、鄭求福、趙珖

通訳： 尹盛熙(専門通訳)

事務局： 長久光、朴慶嬉

会議内容

- ・2004年5月の合同研究発表会の発表形及び内容について協議
- ・第9回合同分科会の日程及び内容について協議

協議事項

- ・2004年5月の合同研究発表会
 - 韓国側：委員 3 人がそれぞれ発表20分、討論20分、計2時間
 - 日本側：代表1人が発表30分、討論30分、計1時間
- ・第2分科第9回合同分科会の日程及び内容について協議
 - 日時：東京 日韓文化交流基金会議室
 - 発表： 一 韓国側 偽使関連(韓文鍾共同研究員)
 - 一 日本側 朝鮮通信使関連発表(米谷均研究協力者)
 - 一 研究史整理論文についての討論(朝鮮通信使)

第9回合同分科会（第3回研究発表会）

日時及び場所

日時： 2003年12月20日（土） 10:00－17:45

場所： 東京 財団法人日韓文化交流基金会議室

出席者

日本側委員： 田代和生、吉田光男、六反田豊

日本側研究協力者：伊藤幸司、橋本雄、米谷均

韓国側委員： 孫承喆、鄭求福、趙珖

韓国側共同研究員：韓文鍾、朴哲暎、洪性徳

通訳： 尹盛熙、李春京（専門通訳）

主題発表及び討論

- ・韓文鍾共同研究者 「朝鮮前期倭人統制策と通交違反者の処理」
- ・米谷均研究協力者 「朝鮮侵略前夜の日本情報」

第10回合同分科会（第4回研究発表会）

日時及び場所

日時： 2004年3月14日（日）09:30－18:00

場所：釜山 パラダイスホテル

出席者

日本側委員： 田代和生、吉田光男、六反田豊

日本側研究協力者：伊藤幸司、橋本雄、米谷均

韓国側委員： 孫承喆、鄭求福、趙珖

韓国側共同研究者：韓文鍾、朴哲暎、洪性徳

通訳： 李相烈（釜山国際交流センター所長）、曹京利（慶南情報大学兼任教授）

事務局： 長久光、朴慶嬉

会議内容

(1) 主題発表及び討論

- ・伊藤幸司「中世日朝関係にみる偽使の時代」
- ・孫承喆「中近世韓日関係史認識の共通点と差異点」

(2) 今後1年間の日程について

- ・報告書の形態（研究史整理文、主題発表文、討論記録）
- ・編集会議を2回開催
- ・報告書の作成及び交換等

合意事項

- ① 今後1年間で報告書提出のための編集期間とし、編集会議を2度開催する。
- ② 第1回編集会議は、2004年11月中に全体会議の前日に開催する（全体会議が開催されない場合には、第2分科単独の会議として東京で開催する）。第2回編集会議は、2005年3月中に第2分科単独会議として開催する（日時及び場所及び場所は今後決定する）。
- ④ 報告書の内容は、研究史整理文、発表論文、討論の議事録とし、各発表者が作成して2004年11月の第1回編集会議2週間前に事務局を通じて交換する。
- ⑤ 報告書は印刷、出版することを目標とする。
- ⑥ 日本側委員（田代委員）の偽使関連資料を、簡単な説明書と共に伊藤研究協力者の発表論文に添付することが出来ることとする。

第11回合同分科会（第1回編集会議）

日時及び場所

日時： 2004年11月27日(土) 10:00－18:30
場所： 東京 財団法人日韓文化交流基金会議室

出席者

日本側委員： 田代和生、吉田光男、六反田豊
韓国側委員： 孫承喆、鄭求福、趙珖
通訳： 小島寿美子、李春京(専門通訳)
事務局： 長久光、朴慶嬉

会議内容

- ・最終報告書の編集に関する協議
- ・次回会議の日程について協議

合意事項

- ①最終報告書の形式・構成については第2分科の独自性に立脚する。
- ②最終報告書の構成は4部構成とする。
日本側：はじめに、第1篇 学説史、第2篇 研究論文(討論記録添付)、第3篇 補論
韓国側：序文、第1篇研究史整理論文、第2篇主題発表論文(討論録取文添付)、第3篇
付録論文
- ③最終報告書は部外秘、引用不可とする。
- ④日本側の補論には田代委員および吉田委員の論文を、韓国側の付録論文には趙珖委員の論文を収録する。
- ⑤田代委員の論文「朝鮮国書・書契の原本データ」は、筆者名は田代和生とし、高橋裕次、和田浩の論文は節に挿入し、筆者は註の部分に表示する。
- ⑥日本側の学説史の作成者として参加者の名前を明らかにする。
- ⑦討論記録は各個別研究論文に続けて収録し、原則的にテープから起こした内容をそのまま収録する(誤字や脱字、あー、えー等の間投詞は削除する)。但し、録音の失敗により漏れ落ちた部分は相互補完する。
- ⑧第1回編集会議に提出された両国の原稿はそのまま認めるが、第2回編集会議では配列及び今後追加される内容について検討する。
- ⑨活動日誌は、事務局において共同で作成し、第2回編集会議にて確認する。
- ⑩第2回編集会議は、2005年の第6回全体会議開催日の一日前に日本で開催し、検討用の

最終報告書は第2回編集会議の一カ月前までに事務局に提出する。

- ⑪最終報告書の支援委員会への提出が完了した後、共同研究成果が必ず出版物として一般に公開されるよう支援委員会に要請する。

(追加事項)

- ⑫最終報告書原稿は2005年1月末までに事務局に提出し、翻訳された原稿を2005年2月14日までに交換する。
- ⑬必要な場合、第2回編集会議を2005年3月12日にソウルで開催する。開催如何については開催日の2週間前までに決定・通報する。

第12回合同分科会（第2回編集会議）

日時及び場所

日時： 2005年2月26日（土） 15:00－22:40

場所： ソウル 日韓歴史共同研究委員会韓国側事務局会議室

出席者

日本側委員： 吉田光男

韓国側委員： 孫承喆

事務局： 長久光、朴慶嬉

会議内容

- ・日韓両国原稿の翻訳及び討論記録検討
- ・修正部分に関する協議
- ・今後の日程に関する協議